

基本の動きをおさらいしましょう

移動・移乗介助の 実践



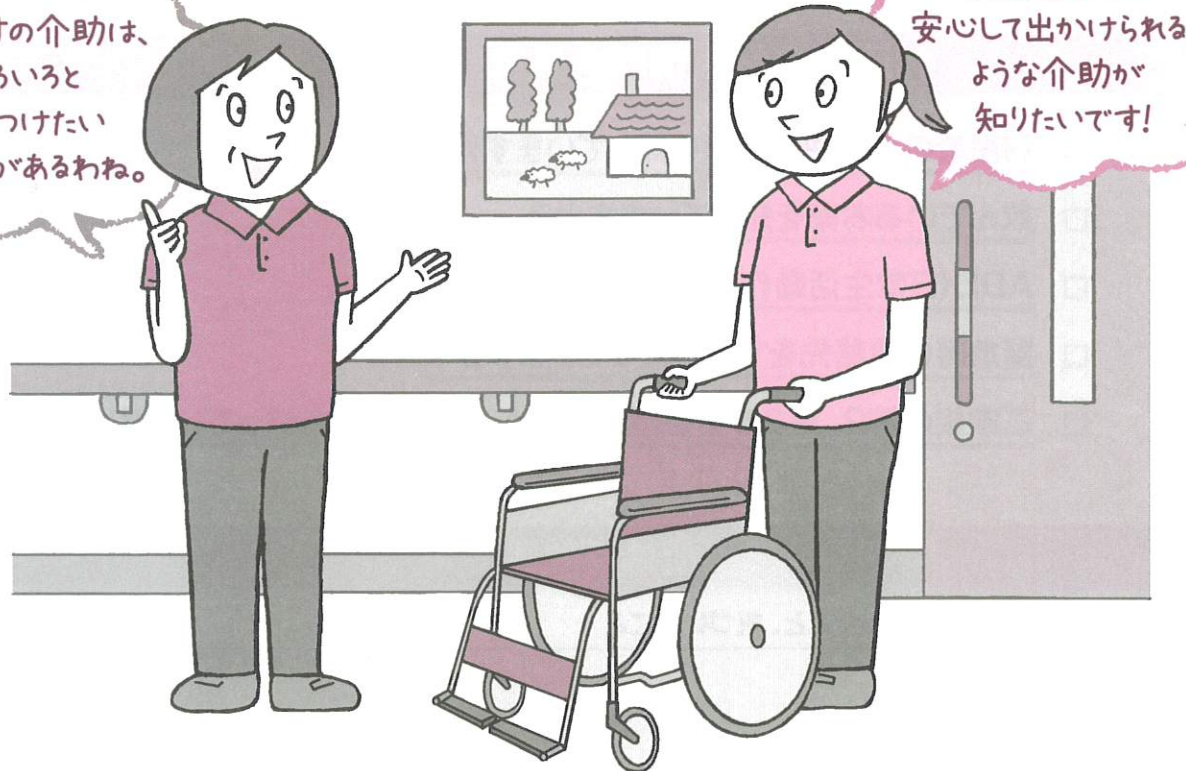
監修／北田信一

看護師。介護支援専門員。東京都立大塚看護専門学校卒業。精神科病院病棟看護師長、看護専門学校専任教員、介護福祉士養成施設専任教員(教務課長)を経て現在、株式会社PAO代表取締役。認知症対応型グループホームPAO経堂、デイサービスPAOすがもを運営する。教員時代より日本社会事業大学介護技術講習会主任指導者を務めるなど、介護技術教育にかかわる。

第4回

車いすの移動・移乗

車いすの介助は、
いろいろと
気をつけたい
ポイントがあるわね。



いいわね！今回は車いすの移動・移乗をおさらいしましょう！まずは車いすの安全な基本操作からよ！



なので、車いすの方が安心して出かけられるように、介助をおさらいしたいなと……



喜んでくださると、こちらまで嬉しくなるわよね！



はい、とても！車いすだから外出は大丈夫かしら？と心配されていたのですが、大丈夫でした



車いすでの介護が必要な状態だと外出の機会が減りがちだから、利用者さん、喜んでいらしたんじゃない？



この前、車いすの利用者さんと散歩をしに行きました

安心して安全な
車いすの介助をおさらい！



サービス提供
責任者

やよい

ホームヘルパー
歴15年の頼れる
リーダー。



ヘルパー

みどり

ホームヘルパー
歴3年の頑張り
屋さん。

公式サイトは
こちらから！



車いすの基本操作

利用者の安全を守る車いすの基本操作を確認して、安心の介助を目指しましょう！

1

車いすを動かす前は必ず、利用者の状態を確認しましょう

深く腰をかけていますか？

腕が車いすの外に出ていませんか？

フットサポートに足がのっていますか？

ひじがアームサポートの上のっていますか？

良くない姿勢



洋服が車輪にふれていませんか？

2

駐車ブレーキを正しく外しましょう

グリップをつかみ利用者の横に回り込むようにして、駐車ブレーキを外します。このとき利用者の顔を見て、顔色や表情を観察しましょう。声かけも忘れずに。

ブレーキを外しますね

良くない操作



3

車いすを押す際の注意点を確認しましょう

前に進みますよ

声かけ

利用者に声をかけてから動かしましょう。

足の位置

利用者の足元が見づらくなるので、壁や障害物にぶつからないようにしましょう。

速度

座っているとスピードを感じやすいので、速度に気をつけましょう。

周囲の安全

安全に走行できる環境か確認しましょう。

4

安全なキャスター上げを覚えましょう

ティップングレバーを踏んでキャスター（前の車輪）を持ち上げる操作です。段差や砂利道などのさまざまな場面でされています。

利用者からの重心線が、まっすぐに地面に向かう角度を意識しましょう。

しっかり踏み込んでキャスター（前の車輪）を上げます。

左に麻痺がある場合

車いすへの 移乗介助

麻痺のある方の
車いすへの移乗で特に
気をつけることは何でしょう？



車いすを置く位置に
注意してね！



1 車いすを用意して 声をかける

車いすを利用者の非麻痺側にできるだけ
近づけて、声をかけます。

これから車いすへ
移動していただきますね



ポイント

- ・車いすはベッドに対して
30度～45度の角度でと
めます。
- ・車いすのフットサポート
が利用者のふくらはぎの
後ろにくるくらいの位
置まで近づけましょう。



2 端に浅く座り、太もも を車いすの座面に 平行にしてもらう



ベッドの端に浅く座って
もらいます。続いて、
太ももが車いすの座面
に対して平行になるよ
うに体を少し回してもら
います。

ひざを
こちら側へ
向けてください

3 足の位置をなおす



非麻痺側の足で立ち上
がりやすいように、麻痺
側の位置をなおします。

立ち上がりやすい
ように足を
なおしますね

4 利用者を抱える

利用者の非麻痺側の手を肩
に回してもらい、腰を落として
利用者を正面から抱えます。

ポイント

腕は私の肩に回した
ままにしてくださいね



利用者の肩甲骨と
腸骨を、しっかり支
えましょう。



ひざ折れ防止のた
め、利用者の麻痺
側のひざを介護者
のひざでしっかり支
えましょう。

7 車いすに座ってもらう

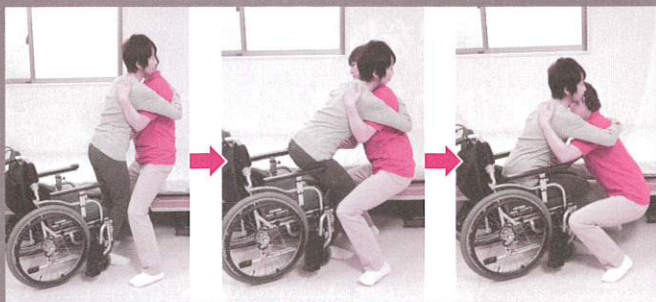
腰を落としながら
ゆっくりと、利用者
に車いすに座って
もらいます。

座るときも、
おじぎをしましょう



ポイント

介護者の肩が下がることで、利用者が
自然とおじぎをする体勢になります。



8 車いすへの移乗完了

車いすに深く腰かけ
られているかを確認
します。

ふらつきは
ありませんか？



5 立ち上がってもらう

利用者を支えなが
ら、おじぎをする
ように立ち上がっ
てもらいます。

おじぎをするようにして
立ちましょう



6 体を座りやすい 向きにする

利用者の体を、車いす
に座りやすい向きに回
転させます。

体を回しますよ



反対側から見ると……

利用者の腸骨を押す
ようにして体を回転
させます。